

#### (4) 第1期データヘルス計画の評価・考察

第1期データヘルス計画においては、「脳血管疾患の死亡を減らし、健康寿命を延伸することで平均寿命との格差を縮小し、医療費の適正化を図る」ことを目的に、健康課題の解決に向け保健事業を実施し、評価をしました。(P39~40参照)

##### 【短期的な目標】

##### ① 特定健診受診率を上げる

健診とがん検診を同日に受けられる体制の整備、健診未受診者勧奨や休日健診を実施し、特定健診受診率はH26年度49.9%からH28年度(速報値)51.0%に増加しました。しかし目標の60%は達成できませんでした。

特に受診率が低い40~50歳代に働きかけを行っていきます。

##### ② 特定保健指導対象者のBMI高値者(25.0以上)を減らす

##### ③ 特定保健指導実施率を上げる

特定健診の結果、BMI高値者(25.0以上)は、県平均より少なく、H26年度20.4%からH27年度20.1%に減少(改善)しました。

特定保健指導実施率はH26年度37.7%からH28年度(速報値)46.9%に増加しました。

しかし目標の60%は達成できませんでした。

特定保健指導対象者を減少させるため、メタボリックシンドローム予防の取組を行なうと共に、保健指導実践者の資質向上や健診当日の特定保健指導の実施、特定保健指導の委託の拡大など、特定保健指導実施率の向上を図ります。

##### ④ 減塩に取り組む住民を増やす

##### ⑤ 尿中推定塩分摂取量高値者(15g以上)を減らす

脳卒中の予防対策として、市報やFMとおかまち、各地区の健康教育で食生活アンケート(H28年度)結果や減塩の必要性和工夫点について周知しました。食生活改善推進員と協働し、減塩対策の健康教育と調理実習、健診会場で減塩コーナーを設置し啓発をしました。

第2次健康とおかまち21のアンケート調査より、塩分をひかえるようにこころがける人の割合は、H22年度69.6%からH28年度68.1%に減少(悪化)しました。目標は達成できませんでした。

尿中推定塩分摂取量平均値は、H27年度9.68gからH29年度9.38gに減少(改善)しました。しかし、目標値の9.28gは達成できませんでした。

尿中推定塩分摂取量高値者(15g以上)割合はH27年度1.6%からH29年度0.9%に減少(改善)し目標値の1%は達成できました。

今後も減塩に取り組む住民が増えるよう取組を継続していきます。

## ⑥ 運動に取り組む住民を増やす

運動指導員等による運動指導と運動継続に向けた体制整備（運動継続教室の開催や市内の運動教室の周知等）を実施し、1週間に2回、1日30分以上運動する人の割合はH22年度31.3%からH28年度31.4%にわずかに増えました。現時点で、目標が達成できたかどうかは評価できないため、運動習慣の定着への取組を継続していきます。

### 【中長期的目標】

#### ① 未治療高血圧者を減らす

特定健診の結果、医療機関未受診者への受診勧奨を実施しました。国保の高血圧治療者の割合は、H26年度33.6%からH28年度36.3%に増加（改善）しました。

今後も、重症化予防の取組を継続していきます。

#### ② 健診での高血圧有所見者を減らす

（収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上）

健診当日に高血圧有所見者へ保健指導と受診勧奨、結果通知後に保健指導や生活習慣病予防教室を実施しました。健診での高血圧有所見者はH26年度20.9%からH27年度21.2%にと増加（悪化）し、目標は達成できませんでした。

今後も、重症化予防の取組を継続していきます。

#### ③ 健診でのHbA1c高値者（6.5%以上）を減らす

健診当日に前年度の糖代謝異常判定者への保健指導及び受診勧奨、結果通知後に訪問、面接等による保健指導や生活習慣病予防教室を実施しました。住民には糖尿病や生活習慣病に関する講座を県立病院と連携し医療・食事・運動をテーマに実施しました。

健診でのHbA1c高値者はH26年度7.1%からH27年度7.2%に増加（悪化）し、目標は達成できませんでした。

今後も、糖尿病予防・重症化予防の取組を継続していきます。

### 【大目標】

**国民健康保険加入者の脳血管疾患による医療費の伸びを抑える。**

脳血管疾患の医療費はH26年度161,566千円からH28年度91,121千円と減少しました。現状では国保加入者の減少があり、総医療費では評価ができません。

今後は、脳血管疾患の入院医療費の件数等の推移を経年的に分析して行く必要があります。

<第1期データヘルス計画における保健事業の評価>

事業区分	保健事業	事業の目的目標	対象者	事業内容
1	健康診査(特定健診等)事業 特定健診・住民健診・人間ドック	・疾病の早期発見、早期治療 ・特定健診、住民健診、人間ドック受診の定着を図る	16～74歳の国保被保険者	・特定健診(住民健診)、人間ドックの実施 ・特定健診、がん検診のセット健診の設定 ・個別医療機関健診、休日健診の実施 ・人間ドックの検診機関の選択肢増加 ・郵送による未受診者の受診勧奨
2	特定保健指導	健診結果を理解し、生活習慣病の発症予防、重症化予防のための生活習慣の改善や適切な受診行動がとれる者を増やす 健診意義を実感する継続受診者を増やす	特定健診受診者全員	・健診当日、過去受診歴等を活用した検査値の見方、継続受診の必要性など保健指導を実施 ・結果発送時に生活習慣病予防のパンフレットを同封 ・健診結果説明会で結果の見方や保健指導、予防のための情報提供を実施 ・健診結果説明会の欠席者に個別で保健指導を実施
3	生活習慣病重症化予防事業 1) 高血圧予防のための特定受診者のフォローアップ	特定健診結果での高血圧判定者を減らす (収縮期160mmHgまたは拡張期100mmHg以上)	特定健診結果、血圧160/100mmHg以上者	・健診当日、高血圧判定者に保健指導と受診勧奨を実施 ・結果通知後、治療状況を把握し、未受診者に電話または訪問指導による医療受診勧奨、保健指導を実施 ・血圧160/100mmHg以上者へ保健指導、生活習慣病予防教室の開催
	2) 糖尿病予防のための特定受診者のフォローアップ	特定健診結果での糖代謝異常判定者を減らす (HbA1c7.0%以上)	特定健診結果、HbA1c7.0%以上者	・健診当日、前年度受診結果で糖代謝異常判定者へ保健指導と受診勧奨を実施 ・結果通知後、治療状況を把握し、未受診者に電話または訪問指導による医療受診勧奨、保健指導を実施 ・HbA1c7.0%以上者へ保健指導、生活習慣病予防教室の開催
4	生活習慣病予防の知識普及啓発事業 1) 食生活改善事業	脳卒中予防のために、その要因である高血圧予防として、減塩や野菜と果物の適切な摂取を推進する	市民	・地区組織等と協働し、脳卒中予防のための減塩を中心とした食生活改善の健康教育や調理実習を実施 ・健診会場で食生活改善推進員による減塩コーナーを設置 ・特定健診受診者に対し尿中推定塩分摂取量及び推定カリウム量検査を実施。結果発送時にパンフレットで啓発 ・健診結果説明会、重症化予防の訪問等で個別栄養指導を実施
	2) 健康運動事業	運動指導と運動継続支援を行って生活習慣病予防や要介護になる者を少なくする	40歳以上の市民	・運動指導員等が有酸素運動、筋トレを指導 ・体組成計により筋肉率、体脂肪率等を継続的に計測。運動の実績や効果を随時確認し運動の継続を図る
	3) 小児期からの生活習慣病への取組	小児期からのよりよい生活習慣を身につけさせるため、家庭全体で生活習慣を見直す 将来の生活習慣病の発症を予防する	乳幼児、保護者、妊婦とその家族	(母子保健事業) ・両親学級(ハローパパママ学級)、乳幼児健康診査、離乳食教室、保育園等において、食生活をはじめとした生活習慣について保健指導を実施
5	重複・頻回受診者への適切な受診指導	適正受診の啓発と医療費の適正化を図る	国保被保険者	・普及啓発事業の実施 ・重複・頻回受診該当者を抽出後、保健師等が個別指導を実施
6	後発医薬品の使用促進	医療費の適正化のために、後発医薬品の普及促進を図る	12歳以上の国保被保険者	100円以上の差額がでる医薬品を対象に、年2回後発医薬品の差額通知を実施

評価指標・目標			評価
現状 (H26年度)	実績 (H28年度)	H29年度目 標	
特定健診受診率 49.9%	51.0% (速報値)	60%	特定健診とがん検診を同日に受けられる体制の整備、未受診者への受診勧奨後、休日健診を実施した。特定健診受診率は増加したが、目標は達成できなかった。特に40～50代の受診率が低い。
特定保健指導実施率 37.7%	46.9% (速報値)	60%	・特定保健指導実施率は増加したが、目標は達成できなかった。 ・メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率は、H20年度比からH26年度35.8%減となり、目標(16.1%)は既に達成している。
①血圧160/100mmHg以上者の割合 5.2% ②血圧平均値 125/73mmHg	① 3.7% ② 125/73mmHg	減少	・血圧(160/100mmHg以上)有所見者割合は減少したが、血圧平均値は同値で目標が達成できなかった。 ・未受診者に訪問等による受診勧奨を実施した結果、高血圧治療者の割合は増加し目標は達成できた。 ・高血圧医療費は減少した。国保加入者の減少や後発医薬品の普及により、総医療費では評価が難しい。
①国保での高血圧治療者割合 33.6% ②国保での高血圧医療費の総額 239,845千円	① 36.3% ②215,882千円	増加	
①HbA1c7.0%以上者の割合 2.9% ②HbA1c平均値 5.8%	① 3.4% ② 5.8%	減少	・高血糖(HbA1c7%以上)有所見者割合は増加、HbA1c平均値は変化なく、目標は達成できなかった。 ・未受診者に訪問等による受診勧奨を実施した結果、糖尿病治療者の割合は増加し目標は達成できた。 ・糖尿病医療費は減少した。国保加入者の減少や後発医薬品の普及により、総医療費では評価が難しい。
①国保での糖尿病治療者割合 19.9% ②国保での糖尿病医療費の総額 169,187千円	① 23.7% ②139,387千円	増加	
食生活改善事業参加人数 3,072人	3,254人	増加	・食生活改善推進員と協働で、減塩をテーマに各地区で健康教育の実施や健診会場で減塩コーナーを設置し啓発を行った。参加人数は増加し目標は達成できた。
(H27年度～実施) ①尿中推定塩分摂取量平均値 H27:9.68g ②尿中推定塩分摂取量高値者(15g以上)割合 H27:1.6%	①9.38g (H29年度) ②0.9% (H29年度)	①9.28g ②1.0%	・尿中推定塩分摂取量平均値は減少したが、目標は達成できなかった。尿中推定塩分摂取量高値者(15g以上)割合は減少し、目標は達成できた。
十日町市健康増進計画(健康とおかまち21)「身体活動・運動」の指標で評価 ・1週間に2回1日30分以上運動をする人の割合 (H22年度)31.3%	31.4%	増加	運動指導員等による教室の開催や市内の運動教室の周知を行った。1週間に2回1日30分以上運動をする人の割合は変化なく、目標の達成は評価できない。
十日町市健康増進計画「栄養・食生活」「たばこ健康」の指標で評価 (H22年度) ①朝食を毎日食べる人の割合89.0% ②喫煙者の割合 男:32.8% 女:6%	①90.1% ②男:27.1% 女:5.1%	①増加 ②減少	母子保健事業を通し、妊娠期～出産、乳幼児期の関係機関と連携を図り、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進やたばこの害の啓発を実施した。朝食を毎日食べる人の割合は増加、喫煙者の割合は減少し目標は達成できた。
重複・頻回受診 該当者15人	4人	継続 実施	重複・頻回受診の該当者には、訪問等で指導している。前回に比べ該当者が減少した。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全世帯に通知</li> <li>・ 後発医薬品使用割合 56.2%</li> </ul>	66.2%	H28:60% H32:80%	後発医薬品使用割合は増加し、目標は達成できた。
---	-------	--------------------	-------------------------